

オンライン・リアル・ハイブリッド開催、状況に応じて臨機応変に活動しています！

高P連では会員の皆さまのご意見・アンケート結果を元に、事業を計画しています。

研修委員会では各校PTA会長を対象とした情報交換会を2回、健全育成委員会では関心の高いテーマでオンライン講演会を3回、実施計画を立てました。多くの方にご参加いただけるよう、状況に応じて多様な開催方法を採用しました。

研修委員会 7月情報交換会

今年度の情報交換会は、各校PTA会長の皆さまに早い段階で交流を持っていただけるように、7月23日(土)に対面で開催しました。

会場となった波止場会館では、40名を超える参加となり、地区ごとのグループに分かれてディスカッションを行いました。

話し合いのテーマは、各地区大会、体育祭・文化祭など学校行事への関わり方、保護者等の皆さまへの情報共有の仕方などがあり、活発な意見交換となりました。

参加された多くの皆さまより「対面で会合できてよかった」「悩みや不安を共有できて安心した」というお声をいただいております。

今回の情報交換会を通して、PTA活動が順調に行われることを願い、学校の教育活動に協力をして、子どもたちの笑顔をつなげようという共通の思いを感じることができました。



情報交換会の様子

健全育成委員会 11月講演会

健全育成委員会の令和4年度 第1回オンライン講演会が11月20日(日)に行われました。

講師は元女優で現在は「笑顔」「コミュニケーション」「表現力アップ」「チームワーク」に関する講演(幸縁)等を各地で開催するOfficeアトム代表 森川あやこ氏です。

ちょっとしたアクシデントでオンライン回線の開放が直前になってしまいましたが、講師の方の講演中の問いかけにチャットで返事をしていただく等、参加していただいた会員の方々も楽しんでいらっしゃるのが伝わってきて、よい講演会ができたとホッとしました。森川先生もおっしゃっていましたが、リアルの長所・オンラインの長所、このバランスを上手にとりながらこれからも開催していきたいと思っております。会員の皆さま、よろしくお願いたします。



高P連事務局から、Zoomでご講演いただきました。

令和4年度定期総会

令和4年度の定期総会は、6月18日（土）にパシフィコ横浜にて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年同様に書面開催とさせていただきました。

令和4年度の役員体制について、米山会長含む計5名が退任となりました。前年度会計の橋本千春が会長となり、前年度地区理事等から計5名が新役員として選出されました。

また、個人情報保護法が改正されたことを受けて、「神奈川県立高等学校PTA連合会に係る個人情報保護に関する細則」を見直し、改正を行いました。

令和4年度は会長の意向もあり、昨年に引き続きオンライン開催も念頭に置きつつ、会員の皆さまと対面で交流できるよう、リアルでの開催も踏まえた事業計画を立てました。

以下の通り、総会は成立し、各議案についても全て承認されました。

ご審議いただきありがとうございました。

令和4年度 定期総会（書面開催）承認事項

【構成員】

各校PTA会長	143名
各校校長	134名
役員・理事	22名
合計	299名

【決議事項】

- * 令和3年度事業報告・決算報告・監査事項
- * 個人情報保護に関する細則改正
- * 令和4年度役員選任
- * 活動方針・スローガン・ミッション（案）
- 令和4年度事業計画・予算（案）

	項目	収入	支出	差額（繰越金）
令和3年度 決算	一般会計	36,675,784	25,796,159	10,879,625
	研修事業会計	9,585,386	6,533,301	3,052,085
令和4年度 予算	一般会計	34,739,625	34,739,625	0
	研修事業会計	7,132,085	7,132,085	0

【学び、行動するPTA】団体表彰：9校（学校番号順）

生田高校PTA	麻生総合高校PTA	逗葉高校PTA
藤沢工科高校PTA	伊勢原高校PTA	小田原東高校PTA
足柄高校PTA	厚木北高校PTA	橋本高校PTA

令和4年度 賛助会員：3団体（50音順）

全力丸株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 ライズTOKYO株式会社

令和4年度神奈川県立高等学校PTA連合会 役員・理事紹介

後列左から：植村会計、大村理事（湘鎌）、新井理事（相模原）、相澤理事（県央）、澁谷理事（県西）、小林副会長、釣理事（平秦）、藤下理事（川崎）

中列左から：北総務、吉川副会長、内田副会長

前列左から：菊地理事（横浜南）、村田理事（横浜北）、市村総務、橋本会長、中野顧問、角田副会長、君島監事、関総務

※（ ）は理事の所属地区



橋本千春 会長より

「コロナ禍のPTA活動」と表現するようになって3年目、子どもたちも学校も私たちPTAも環境が大きく変わりましたが、変わらないのは私たちPTAは子どもたちの輝かしい未来の

ために学び、行動し続けなければならないということです。今年度は、神奈川県で開催した3年ぶりの関東大会や、毎回多数ご参加いただいている健全育成オンライン講演会、そして参加制限をせずハイブリット開催した県大

会などを実施することができました。これからも、会員の皆さまのご意見を伺いながら、学ぶこと、行動することを繋ぎ続けていきますので引き続きよろしく願いいたします。

教育懇談会

高P連では、県教育委員会関係各課との密接な連携を図るとともに、当連合会の諸事業について理解を深めてもらうことを目的として、「教育懇談会」を実施しています。令和4年度は、12月21日（水）に開催いたしました。以下のテーマ別に県教育委員会から情報提供していただき、活発な意見交換をすることができました。

- (1) 再編統合の今後の見通し
- (2) 手話に関する取り組み
- (3) かながわハイスクール人材バンク
- (4) コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）
- (5) 高校を中退したあなたへ
- (6) 外国につながるのある生徒の教育機会の提供と学習支援

すべての年齢に対する 自転車乗車用ヘルメット着用が 努力義務化されます



神奈川県
PRキャラクター
かながわキンタロウ

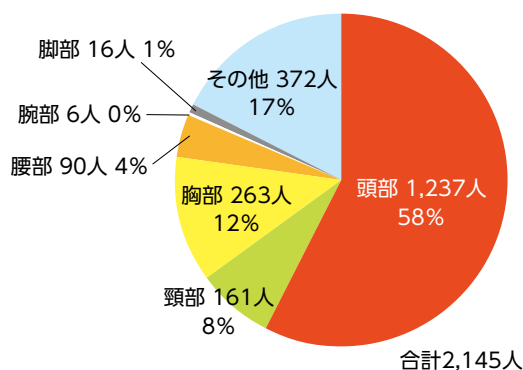
自転車乗車中の致死率を背景に、道路交通法の一部改正（2022年4月27日公布）により、「全年齢に対する自転車乗車用ヘルメットの着用努力義務化」が2023年4月1日より施行されることが閣議決定されました。

未着用でも罰則はありませんが、「ヘルメットで守れる命は多い！」です。

自転車乗車中における交通事故死者の約6割は、頭部に致命傷を負っており（図1）、ヘルメット非着用時の致死率は着用時と比べて約2.2倍です（図2）。

交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることがとても重要です。大切な命を守るために、子どもだけではなく、大人も通勤・通学等、日常生活で自転車に乗るときもヘルメットを着用して、頭部を保護しましょう。

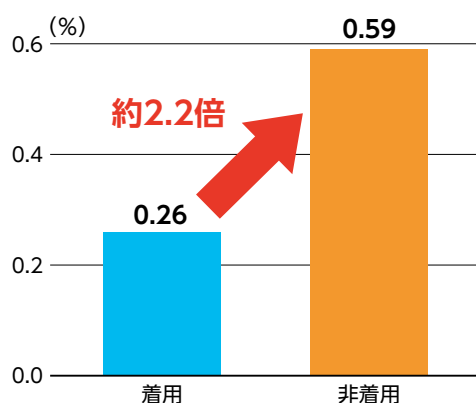
図1
自転車乗車中死者の人身損傷主部位
(致命傷の部位) (平成29～令和3年合計)



*「その他」とは顔部、腹部等をいう。

警察庁統計（平成29年～令和3年）より作成

図2
自転車乗車中のヘルメット着用状況別の致死率
(平成29～令和3年合計)



警察庁統計（平成29年～令和3年）より引用

第60回神奈川県立高等学校PTA連合会大会

今年度の県大会は昨年同様、パシフィコ横浜とオンライン配信のハイブリッド形式で、令和4年12月11日(日)に開催しました。テーマ「学び、伝え、活かす」のもと、また、第60回という節目にあたり、記念講演をメインに広報紙コンクール表彰式や、PTA活動事例発表等を行いました。



主催者あいさつで登壇する橋本会長



会場の様子

PTA活動事例発表として、茅ヶ崎北陵高校よりオンライン会議の推進とPTA総会のデジタル化について、伊勢原高校より使用しなくなった体育館履きを海外へ送る等のSDGsについて発表がありました。2校共に苦勞を惜しまず学校・保護者・生徒が一体となって活動している姿が見受けられ、時代の変化に対応したPTA活動のあり方としてたいへん参考となる内容でした。



茅ヶ崎北陵高校の皆さま



伊勢原高校の皆さま

宮澤ミシェル氏から「子どもが輝くための子育て」と題して、日本生まれの外国籍で育ち、帰化するまでの苦勞したことについてお話いただきました。

小学生の頃は辛い思いをすることもあったそうですが、当時の担任の先生からクラスの子もたちへの働きかけによって、学校生活が楽しくなっていったことを明かしてくださいました。

ご自身のお子さんとのエピソードにも触れていただき、子どもの話を聞いてあげることの大切さと、子どもたちはきっかけさえあれば気持ちが上向きになり見違えるほど成長できるのだと熱く語っていただきました。

笑顔が素敵な宮澤氏の講演によって、家庭でのコミュニケーションを大切にしていきたいと心から思いました。



宮澤ミシェル氏

優秀賞
神奈川新聞社賞
七里ガ浜高校



優秀賞
県教育委員会教育長賞
海洋科学高校



最優秀賞
生田東高校



優秀賞
高P連校長賞
相模原弥栄高校



優秀賞
安全振興会賞
神奈川総合高校



「表紙」コンクール優秀賞
川和高校



安全振興会 写真賞
鶴見高校



写真賞
鶴見総合高校



企画賞
川和高校



編集賞
横浜翠嵐高校



奨励賞
生田高校



奨励賞
小田原高校



奨励賞
希望ヶ丘高校



奨励賞
中央農業学校



奨励賞
元石川高校

第46回広報紙コンクールでは、審査委員の厳正な審査の結果、最優秀賞には生田東高等学校の「Ikuta Higashi」が選出されました。

第6回広報紙「表紙」コンクールでは、高P連ホームページでの投票の結果、川和高等学校の「川和」が優秀賞を受賞されました。

各コンクールの表彰式は県大会と同日に開催され、広報紙コンクール審査委員長である神奈川新聞社の小野たまみ氏に、受賞した広報紙について、ご講評いただきました。

また、より良い広報紙づくりのためのヒントとなるお話をいただき、参加者からも、とても参考になったため、当日参加できなかった広報委員さんたちにもぜひ視聴を勧めたいと感想をいただきました。



表彰校の代表の皆さま



審査委員長の小野たまみ氏

第68回関東地区高等学校PTA連合会大会神奈川大会

令和4年7月9日(土)、10日(日)の両日、パシフィコ横浜において、神奈川県立高等学校PTA連合会主管の下、第68回関東地区高等学校PTA連合会大会神奈川大会が開催されました。今大会は新型コロナウイルス感染症の流行によって3年ぶりの開催となりました。

会場およびオンライン配信にて延べ約2万3千名の皆さまにご参加いただきましたこと深く御礼申し上げます。

1日目は、相模原中等教育学校、

厚木高校の生徒の皆さんによるパフォーマンスに始まり、黒岩知事、花田教育長による来賓祝辞、羽鳥慎一さん、谷原章介さん、白井健三さんから寄せいただいたビデオメッセージに続いて、スポーツジャーナリストとしてご活躍の増田明美さんによるユーモアあふれる楽しい記念講演が行われました。2日目は各県からの発表と久里浜医療センター・樋口先生による講演をオンライン・アーカイブでお届けしました。

今大会は不安と手さぐりの中での準備となりましたが、大会メインテーマ「つなぐ——学び、行動するPTA」のとおり、関東地区で再びつながることができ、立場上の欲目かもしれませんが会場は参加者の笑顔であふれていたように思います。

おわりに、大会開催に向けてご理解とご協力をいただいたすべての皆さまに敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

(神奈川大会実行委員長 米山 賢)



1日目の記念講演の様子



2日目のオンライン講演の様子

神奈川県立高等学校PTA連合会がおすすめする「ハイスクール24」(団体総合生活保険)

おすすめ
ポイント1

44%*割引適用

*団体割引25%、損害率による割引25%(除く天災危険担保特約)を適用。

おすすめ
ポイント2

24時間 365日

<ケガや賠償事故を補償>

おすすめ
ポイント3

個人賠償責任・国内無制限 (国外1億円)

<神奈川県の自転車条例にも対応>

おすすめ
ポイント4

弁護士費用等補償 (ZEタイプのみ)

※詳細はパンフレットをご参照ください。

<いじめ、嫌がらせ、痴漢などの被害事故にも対応>

大切なお子様を24時間しっかりサポートする「ハイスクール24」。学校を通じて、生徒・保護者の皆さまに「ご案内チラシ」を配付予定です(2月中旬頃配付予定)。ご関心のある方は、神奈川県立高等学校PTA連合会HPをご確認ください。Webによるお手続きが可能です。

■このご案内は商品の概要をご説明したものです。詳細はパンフレットを、ご加入にあたっては、重要事項説明書を必ずお読みください。ご不明な点がございましたらご案内チラシ・パンフレット等に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。



<引受保険会社>

東京海上日動火災保険株式会社

横浜中央支店 金融公務課
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-4
みなとみらいビジネススクエア6階
TEL : 045-224-3519



教育委員会の掲示板

「かながわ教育ビジョン」について

県教育委員会では、かながわ人づくり推進ネットワークと連携し「かながわ教育ビジョン」で掲げた「心ふれあう しなやかな 人づくり」を進めています。そうした人づくりの推進に向け、県民一人ひとりが、教育について考え、行動するための機会として「かながわ教育月間」の開催等に取り組んでいます。今後ともPTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

県立高校改革

県教育委員会では、「生徒の学びと成長にとって何が重要か」という視点を最優先にする」という基本的な考え方に立って、すべての県立高校で、計画に基づく改革に取り組んでいます。令和4年10月には、令和6年度から9年度までの取組を示したⅢ期計画を策定しました。

また、令和5年度には、再編・統合により、横浜瀬谷高校、逗子葉山高校、相模原城山高校の3校がスタートします。

引き続き、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

神奈川 県立高校改革

寄附のお願い

「まなびや基金」「奨学金基金」

①まなびや基金は、県立学校の物品購入・改修工事、グラウンドの一

部や中庭の芝生化など、教育環境の整備に活用しています。

また、県立学校等が自らその特色や地域性を活かして、整備内容、募資金額、成果目標を明示した事業プランを策定し、その事業プランに対しての寄附を募るといった、事業提案型の寄附も募集しています。

②奨学金基金は、学資を必要とする高校生等への奨学金の貸付けに活用しています。

※詳しくは各ホームページをご覧ください。
【問合せ】

県教育委員会財務課、教育施設課
電話

①(まなびや基金全般について)

(045)210-8105

(芝生化について)

(045)210-8123

②(045)210-8251

インクルーシブ教育実践推進校について(インクルーシブ教育推進課)

本県では、共生社会の実現をめざし、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び、共に育つインクルーシブ教育を推進しています。実践推進校は、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を広げるとともに、すべての生徒が共に学ぶことを通じて、互いを理解しながら、社会性・思いやりの心を育てています。令和6年度からは、新たに4校加わり、18校になります。皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

スマートフォン等の適切な使用について

高校生のスマートフォン等を利用したSNSやネットゲームにおける犯罪被害、誹謗中傷やいじめ等のトラブルに巻き込まれるケースが増えています。

インターネット上に一度投稿し拡散された情報は、全てを消すことはできません。

また、睡眠時間を削ってまでスマホ等を使用するなど、生活に支障をきたす状態はインターネット依存です。

スマホ等の使用に関するルールをご家庭で話し合ってください。

子どものケータイ 安全・安心な利用
神奈川 依存症対策

ペーパーティーチャー研修講座(県立総合教育センター)

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のいずれかの教員免許状を所有している方、又は免許が失効している方向けに、「ペーパーティーチャー研修講座」を2月24日(金)に開催します。詳しくは、当センターウェブサイトをご覧ください。なお、来年度も同講座を3回開催する予定です。

【問合せ】 県立総合教育センター企画調整課 電話 0466-81-1759

一人で悩まずお気軽にご相談ください!

不登校やいじめなどの学校生活に係る様々な相談は県立総合教育センターの教育相談へ

[24時間子どもSOSダイヤル]

電話 0120-0-78310又は

(0466)81-8111

24時間365日受付

[不登校ほっとライン(電話相談)]

電話 (0466)81-0185

月～金 8:30～21:00

土・日・祝休日 8:30～17:15

(12月29日～1月3日を除く)

「Eメールによる相談」

kng-k-mai@sodan@pen-kanagawa.ed.jp

「来所による相談」(要予約)

電話 (0466)81-8521

月～金 8:30～17:15

(祝休日・12月29日～1月3日を除く)

新しく生まれ変わった県立図書館

令和4年9月に新しい本館がオープンしました。じっくり本に向き合いたいとき、本を囲んで仲間とアイディアを出し合いたいとき、多様な資料に対峙し、考えをまとめたいとき…それぞれの使い方に合わせたスペースがあります。4階の学び交流エリアでは、いすや机、ホワイトボードが自由に使えます。生涯学習相談デスクでは、学習相談員への相談もできます。是非ご利用ください。

神奈川県立図書館

「PTA活動のためのハンドブック」をご活用ください

県教育委員会では、PTAに対する理解をより深めていただくためのテキストとして、「PTA活動のためのハンドブック」を作成しております。また、このハンドブックの基本的な事項をまとめた概要版も作成しております。

どちらも県ホームページからダウンロードしていただけますので、目的に合わせてご活用ください。

かながわ PTA ハンドブック

エンジニアにつながる5科



生産技術科



制御技術科



電子技術科



産業デザイン科

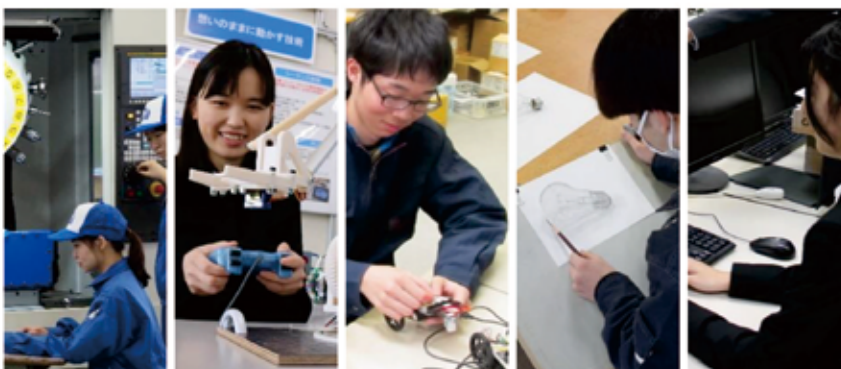


情報技術科

将来はエンジニア!

KCIT

神奈川県立産業技術短期大学校



○神奈川県が運営する短大!

○開校以来平均97.1%の就職率!

○学費は年間50万円以下!

お問い合わせ

〒241-0815

横浜市旭区中尾 2-4-1

(運転免許センター隣)

電話 045-363-1232

https://www.kanagawa-cit.ac.jp/



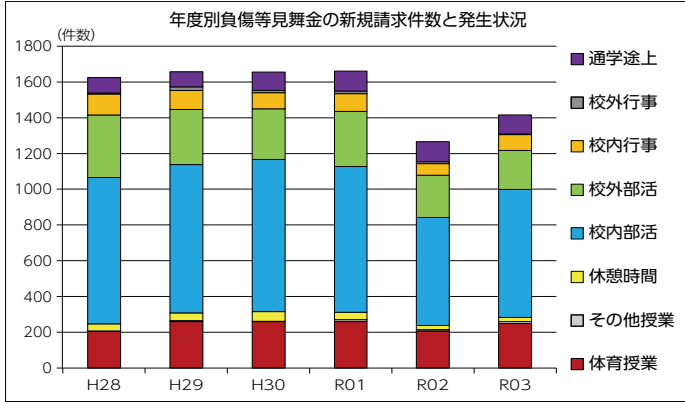
安全振興会報

一般財団法人
神奈川県立高等学校
安全振興会

本会は、昭和56年に県立学校の学校安全の振興を目的として創立しました。以来、神奈川県教育委員会の指導のもと、神奈川県立高等学校PTA連合会・神奈川県立学校長会と連携しながら、①生徒の学校管理下における事故（以下、災害）に対する見舞金等の給付、②学校安全の普及と充実、③修学奨励金の給付、を行っています。詳細は昨年12月に配付しました『令和5年度版 安全振興会のご案内』をご覧ください。

見舞金から「コロナ禍を見る

次のグラフは、本会の年度別見舞金等見舞金の新規請求件数と発生状況の推移をまとめたものです。本会への請求は、日本スポーツ振興センターから



の給付額が15,000円以上となつてからですのでタイムラグがあり、災害のあつた年度になる場合もあります。

令和2年度に部活動や校内学校行事中の災害が大きく減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症により学校活動が制限されたためと思われる。これが令和3年度は増加に転じました。ここから学校活動がコロナ禍前に戻りつつあることが見えてきます。とは言え、災害が増えてよいことにはなりません。防げる災害があります。安全への配慮に十分留意して、災害の無い学校生活を送られることを心より祈念します。

一方、通学途上の災害には変化が見られませんでした。

ケガの内訳

次は令和3年度の負傷等の内訳件数表です。毎年ケガが一番多いのが骨折、二番目が膝靭帯損傷という順位と比率はほとんど変わりません。膝靭帯損傷の継続請求件数が多いのは、治療が長期間にわたっていることを表しています。球技スポーツにおける相手選手との接触や自らの転倒によるもの、ボールの受け損

内訳	新規	継続	合計
骨	670	111	781
捻挫	102	15	117
脱臼	60	32	92
打撲	87	2	89
外傷	33	8	41
内傷	10	2	12
歯	47	14	61
歯	6	2	8
半月板	36	24	60
膝靭帯	156	170	326
足関節	99	11	110
ア	60	21	81
その他	50	9	59
合計	1,416	421	1,837

令和5年度の会費年額は次のとおりです。

学校・課程	会費額			合計
	純掛金	付加費	一般費	
高等学校(※)	708	372	120	1,200
全日制	708	372	120	1,200
定時制	354	186	60	600
通信制	106	56	18	180
中等教育学校	708	372	120	1,200

(※)「高等学校」には特別支援学校高等部を含む。

安全・健康 生徒の作品

(敬称略)

作文コンクール

応募数1,223点(17校)は過去2番目に多い応募数でした。最優秀賞2点を『令和5年度版安全振興会のご案内』に掲載しました。令和5年8月発行予定の会報81号にも選考委員の講評とともに掲載します。

また、令和4年12月11日パシフィコ横浜で開催された第60回神奈川県立高等学校PTA連合会大会で本人による朗読が行われました。

ポスターコンクール

応募数は143点(13校)で昨年より24点増加しました。最優秀賞の2点を原画として「安全推進月間」と「作文募集」のポスターを作成しました。「安全推進月間」のポスターは令和4年10月末に全校に配付しました。「作文募集」のポスターは令和5年6月に全校へ配付します。

最優秀賞(2名)
〔安全推進月間〕
山田七楓(茅ヶ崎)
〔作文募集〕
齋藤なる(横浜隼人)
優秀賞(10名)
折原迪花、馬淵美月(以上、)

「黄色の旗から学べたこと」
古俣遥香(鎌倉)

「自分の色」
優秀賞(6名)
小池奈緒、鈴木愛梨(以上、住吉)、和田恭佳(麻生総合)、田口翔琉、田澤心音(以上、海老名)、小川桃夏(相模原中等教育)

佳作(40名)
軽部結貴、佐藤律花、春山しおり(以上、元石川)、佐藤柚杏、村上義洋(以上、保土ヶ谷)、野田みのり、野口侑真(以上、新城)、日下部伶奈、安達麻理亜、大野にこ、小川夢奈、小宮帆涼、佐々野絆華、高橋佑奈、豊嶋恵

神奈川総合、由川花乃子(白山)、大江まあや、田中明里沙(以上、上矢部)、大角椋(茅ヶ崎)、八幡幸奈(市立横須賀総合)、福島奏美、家名田優奈、外山友紀(以上、横浜隼人)

佳作(10名)
梶田楓花、永地未来理(以上、白山)、岩田ひまわり、高須賀俐奈(以上、上矢部)、尾上翔夏、南谷咲来(以上、藤沢総合)、北原夏香、伊能杏香(以上、市立横須賀総合)、樹所美和、原田帆乃華(以上、横浜隼人)

唯、野島水樹、前田柚喜(以上、住吉)、中島愛美(麻生総合)、荻原咲恵、小塚香紀泉、智田みには(以上、菅)、中安直大(厚木清南)、石川由菜、井上絵怜奈、大塚麻央、尾形和純、兼光柚菜、小島華凜、坂本華乃、神舞花、高木希々佳、田中咲樹、中村芹菜、袴田彩菜、平井勝也、真木幹也、森本優也、森本優月、八木琴葉、吉永瑠奈(以上、海老名)、菊地海来(平塚ろう)



左から小嶋さん、古俣さん



齋藤なるさん(横浜隼人) 山田七楓さん(茅ヶ崎)

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
 横浜市中央区山下町1番地シルクセンター326号室
 電話 045-274-8189 / FAX 045-274-8190
 URL http://www.kanagawa-hsanzen.or.jp